

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)		商店街（代表者）	・東京オリンピックが近づいてくるので、景気が良くなっていく。
		乗用車販売店（営業担当）	・新しい商品が出る予定はないものの、足元は上向きな雰囲気、市場が一番活気付く時期でもあり、期待している。
		一般レストラン（経営者）	・歓送迎会など宴会需要が増えてくる。
		旅行代理店（経営者）	・新年度に入ると、皇太子殿下の御即位があり、気分的に景気の上昇に寄与する。
		通信会社（営業担当）	・業界は今後、年度の売上が最も伸びる時期になる。
		美容室（経営者）	・1～2月は暇になり、3～4月になると徐々に客が増える。
		商店街（代表者）	・従来の店舗の販売量は変わらないが、新規出店が1店あり、そのために売上が上がるように思われる。若干、客の購買意欲もみられるようになってきている。
		商店街（代表者）	・そろそろ消費税引上げ前の駆け込み需要が始まる。暖かくなるのも良いことである。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・来訪客に明るさが感じられる。元気がある。
		百貨店（販売促進担当）	・現在は増税発言などで景況感が悪化しているが、3か月後は駆け込み購買が始まり、一時的に良くなると見込んでいる。
		百貨店（経営企画担当）	・1月後半からスタートしたバレンタイン商戦は好調であり、2月もその動きは続くものと思われる。気温が高い傾向が続いており、売上の前倒しという側面にもなるが、春物衣料品が好調にスタートすると想定している。
		スーパー（総務担当）	・寒くなってきているので、肉では豚肉中心に、鍋物食材や関連する生鮮食品の販売量が伸びてきている。
		スーパー（販売担当）	・競合店に流れていた客が戻りつつあると感じる。
		スーパー（経営企画担当）	・新たな納品先が決まり、店舗販売以外での売上が増える見込みである。
		コンビニ（企画担当）	・東京オリンピックやスポーツイベントを控え、消費税の引上げ前でもあり、夏場に向けて盛り上がり期待する。
		コンビニ（エリア担当）	・天候が春に向かうのと、改元等によるゴールデンウィークの連休に向けて、人出が伸長する流れに期待がもてる。
		コンビニ（店員）	・卒業シーズンで子供が春休みに入るため、手軽に昼食を済ませる人が増えると思われる。
		コンビニ（本部管理担当）	・今年は消費税の増税が控えており、小売業に関して大きな変化がある。これまでの経験から、増税前は売上が一時的に上昇するので、増税までの期間は加盟店の売上にモ一定の期待感はある。
		家電量販店（店員）	・消費税の引上げを前にした買換えが出てきている。今後このパターンが増えてきそうである。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み購入や東京オリンピックに向けての買換えで、テレビとパソコンが今後も売れる。
	乗用車販売店（従業員）	・消費税引上げ前の最後の決算期になるので、駆け込み需要が期待される。ガソリン価格が安くなってきたこともあり、客は遠出をしているのか、メンテナンスに掛ける金額も上がってきている。少し良い兆しを感じられるようになってきたので、期待している。	
	乗用車販売店（販売担当）	・間もなくフルモデルチェンジの新型車両3車種がデビューするので、来客数と販売量が増えると思込まれる。	
	乗用車販売店（営業担当）	・年度末に向けて拡販時期に入り、店としての営業利益目標を達成できる見込みである。	
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・昭和から平成と今回の改元とは違い、消費マインドは上昇するように思われる。ただし、中国の景気がマイナスに働かなければよいが。	
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新しい元号が発表されるなど、新たな時代に希望的観測を少しは見いだす。	
	都市型ホテル（総支配人）	・春に向け季節的な期待感がある。	
	旅行代理店（経営者）	・3月の年度末に向けて少しずつ動きが出てきていると感じるが、地方選挙もあるので例年より厳しい気もする。	

旅行代理店（経営者）	・入試でピリピリしている時期も終わり、4月以降の職場環境や学校行事などが決まれば、旅の計画は立てやすくなるので良くなると思う。社員旅行の今年度の予定なども問合せが増えている。
旅行代理店（営業担当）	・日並びの良いお盆休みの商品の販売時期になるので、ゴールデンウィークに続き、高額な商品の多売が期待できる。
美顔美容室（経営者）	・2月から新しいキャンペーンや新作商品の販売が始まり、販売量がアップする。
美容室（経営者）	・卒業式などイベントが少し増えるので、今よりは少し良い状況になる。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税後の優遇措置が明確になり、先送りの必要がなくなるため、来場数や契約に向けての来客が増えると思われる。
その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・正月休みの気分もやっとなくなり、今月20日過ぎからは住宅・企業設備投資など受注が増えてきている。年度末にかけての企業の設備投資関係の受注が増えてきている。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・新システムの導入準備が進行中で、それが正式稼働すれば業績が上向きになるのではと期待する。
商店街（代表者）	・必要な物以外は購入しない状況が続いており、販売量や売上の増加につながらない。
商店街（代表者）	・消費税増税前の需要がある程度は期待できるが、4K放送もテレビの買換え促進には余りつながっていないので、トータルでは変わらないのではないかと感じている。
商店街（代表者）	・身の回りの景気は非常に悪い。取引業者や関係者等からも良い話は全くといっていいほどない。さらに、悪くなることはあっても、3か月程度で景気が良くなる要素は全くない。
商店街（代表者）	・商品値上げの影響が分からないので、変わらないとしかいえない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・年が明けて少しは良くなった気がするが、個人消費の底上げはなかなか難しいと思う。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・景気の減速が報じられるなか、購買力が伸びる要因が見つからない。格差もずっと続くと思われる。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後良くなりそうな情報がない。かといって悪くなるという情報もなく、肌感覚で余り大きな変化はなさそうに思われる。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・世の中に景気が回復したという実感が無い。相変わらず当地方の景気は非常に悪い。大規模ターミナル駅周辺地区の発展で、客が取られてしまっていると思われる。2月に入るとアレルギー性鼻炎が流行しそうで、かなり期待しているがどうであろうか。他の業界の店長と情報交換をすると、何と暇なんだろうと言っている。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品や企業の景品を扱う業者は、3月に向かって大手を含む企業や官公庁には予算消化があり、売上は3月末まで伸びていくと思う。一方、個人客をみると、財布のひもは厳しく付き合いの幅を狭くしているので、個人向けは、次のお中元まで伸び悩むと思う。したがって、法人客は伸びて個人客が減るという客の様子から3か月先も変わらず、残念だが現状維持である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・5月の連休に備えて日常の消費は控えるという声が客からは聞こえると話す飲食店の店主が、複数出ている。
一般小売店〔書店〕（経営者）	・今までも、変わるという期待があったが何となくそのまま流れている感じがしており、平成が終わる時代、どうなるか分からない。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・現状では先行きが不透明なため、どちらともいえない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き緩やかに年度末まで受注が続いていくと思われる。
百貨店（企画担当）	・中国人旅行者は、来客数は安定的に増えているものの購買単価が下がっており、売上増をけん引していたインバウンドの売上が頭打ちとなっている。国内消費者についても、主力の衣料品、雑貨を中心に売上が前年を下回っており、上昇の気配はみられない。
百貨店（販売担当）	・バレンタイン商戦は前年よりも出足は良いが、前年が悪すぎたということもある。

百貨店（業績管理担当）	・近隣競合店は改装して集客、売上を伸ばしているが、当店は改装もなく、新鮮さや客を引きつける材料に乏しい。
百貨店（販売担当）	・販促施策は続くので、悪くなる要素は余りない。インバウンドは2月の春節に期待できるが、その後はどうなるかは分からない。
スーパー（経営者）	・4月頃も一般大衆の消費は余り良くないと思う。国内消費を上げるため、あらゆる公共投資を積極的に進めている。国際的にも米国を除く各国の景気は良くなく、輸出産業は伸びていないということで生産量を調整していると思う。一部の産業は生産調整の必要が出るが、全体的にはまだまだ人手は足りないと思う。景気には少々弱さはあるが、公共投資が良くなるため、景気は少々下がってもそれほど悪くはないと思う。消費は相変わらず弱いため、景気全体は余り良くない。
スーパー（店員）	・人件費の高騰が響いている。時給を上げなければ募集しても集まらない。これといった特需も見込めず、しばらくは平行線のままだと思う。
スーパー（販売担当）	・良くなる材料がみえてこないため、どうなるか分からない。
スーパー（総務）	・天候は非常に良いが、客単価が上がっても来客数が前年より1割ほど下がっており、低迷している。
スーパー（商品開発担当）	・来客数は2か月連続で前年100%を達成し、現在も良い数値で推移している。売上も多少は伸びる可能性はあるが、大きく伸長する可能性は低く、現状と余り変わらないのではないかなと思われる。
スーパー（ブロック長）	・この冬は前年と違って雪など天候の影響もないのに売上不振である。無駄な出費を抑えるように、客は価格に敏感になっていると感じる。
スーパー（商品管理担当）	・気温はこのような状態が続くと思われるので、バーゲンセールを早め実施して、対策を打っても前年とほぼ同じと見込まれる。
コンビニ（企画担当）	・将来的な不安はあるが、目先に大きな負の要因がないため、安定した状態が継続すると思われる。
コンビニ（エリア担当）	・エンターテインメントとのタイアップキャンペーンと地域商品の発売などで右下がり傾向の状況に対応し、現状を維持する。
コンビニ（エリア担当）	・客の反応は良くなってきているが、ドラッグストアなどが脅威になってきている。
コンビニ（店長）	・店舗のある地域では、再開発に伴う工事需要等があると思われるが、当店には特にその恩恵はないように思う。春先にかけて、そういう需要が当店の売上に反映してくれたらという期待はあるが、うまくいかないように思う。
衣料品専門店（売場担当）	・現時点で、景気回復が見込まれる要素がない。
乗用車販売店（営業担当）	・消費税の増税を前に駆け込み需要が考えられるが、株価の下落や欧州、中国など世界的な景気減速感が強いいため、現状維持という感じである。
乗用車販売店（経営者）	・3月までは決算時期なので、足元の状態が続くものと思われる。
乗用車販売店（経営者）	・人手不足感があり雇用情勢は堅調に推移しそうだが、米中の貿易問題や英国のEU離脱問題等もあり、やや慎重にならざるを得ない。
乗用車販売店（経営者）	・貿易交渉や株価の動向等の不安定要素が多く、楽観視はできない。
乗用車販売店（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
乗用車販売店（従業員）	・劇的に良くなることはないかもしれないが、悪くなる要素もなく、少し良い状況で変わらないという感じがする。
乗用車販売店（従業員）	・販売増が見込める要素は少なく、人気車等も納車までの納期が掛かるため客が迷ってしまう傾向もみられる。決算大イベントで客の購入意欲を刺激するが、近年はなかなか効果もみられない。
乗用車販売店（従業員）	・これから年度末決算期を迎え、なかなか厳しい販売環境ではあるが、客の購買意欲の高まりを期待したい。各社でこれから広告活動も大きく展開されるだろうから、客に強い関心をもってもらえることを期待したい。

住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、マンション、その他一般住宅についても、消費税引上げ前にしようか後にしようかと客が様子見となっている。リフォーム、耐震工事等については増加しているの、全体的には横ばいである。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・書籍離れが進み、特に良くなる要素がなく余り変わらない。
高級レストラン（経営企画）	・期末、春を迎え、歓送迎会や春の慶事は引き続き需要は多い。一方、節約傾向も強まると思われる。
一般レストラン（経営者）	・例年、選挙がある時期は売上が落ちるので、例年並みの売上を維持するよう営業していきたい。
一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・もう少し暖かくなってくればと期待する。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなっている実感が全くない。
一般レストラン（従業員）	・気候が良くなるので弔事の利用も少なくなる。
スナック（経営者）	・年が明けて消費税の増税を見越し、今までになく大変厳しくなる。先が読めない時代に入ったと客が話している。
観光型ホテル（経営者）	・県外からの宿泊事業は弱含みであるが、昼食、夕食に関しては前年比10%以上伸びている。地元の景気は回復してはいないが、比較的仕事が取れているということで地元需要がある。県外からの宿泊事業の伸び悩みは、これから2～3か月の予約状況からも分かる。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと判断した。
旅行代理店（経営者）	・景気が良くなる要因が見当たらない。
旅行代理店（経営者）	・景気の状態から各々の個人の消費行動において無駄遣いしない方向に動きつつある。
旅行代理店（営業担当）	・ウインタースポーツ関連の旅行も伸び悩み、温泉旅行や海外旅行もパツとしない。韓国旅行は減少傾向に歯止めが掛からず、減る一方である。燃油価格が少し落ち着き、ゴールデンウィーク10連休の客の取り込みも行っているが、鈍化している。
タクシー運転手	・何か月も前から、夜11～12時になると繁華街には静けさがあり、飲食店街は人もまばらで遊びに来ている人が増えない。このような状態がまだ続きそうである。
タクシー運転手	・国会が始まり厚生労働省の統計の問題や、カナダと中国との問題、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題等、我が国にとって不安材料が多い。消費税引上げの問題では、やや消費者の財布のひもが固くなる雰囲気がある。ガソリン価格はやや下がっているが、イランの石油問題が米国大統領の影響によりどうなるか分からない。不安材料が一杯なので、なかなか厳しい。
タクシー運転手	・節約の時代なので良くなるわけがない。
通信会社（サービス担当）	・料金改定やキャンペーンなど、客にとって魅力的なサービスがないと、既存客の維持や新規獲得は難しい。
通信会社（営業担当）	・無駄な出費を抑えるために通信費が見直されてきており、この傾向は続くと思われる。
テーマパーク職員（総務担当）	・好転すると感じさせる要因が見当たらない。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・特に中国など海外情勢が不透明である。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・小売状態であり、介護保険制度の改正がサービス事業者にとって良い方向に向かわなければ、企業努力をしていくしかない。
設計事務所（経営者）	・現在の計画案件が実施設計に発展するかが問題である。全部が実施には至らないことは過去の経験から分かっているので、余り期待はできない。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税のタイミングまで変化は余りないと思われる。
住宅販売会社（従業員）	・東京オリンピックも大阪万博も、地方の住宅建築への需要とは全く関係ないと思われる。

百貨店（売場主任）	・冬は寒くて屋外を歩きたくないのので、百貨店の中を歩いて昼に何か食べたり、買物をして帰ろうとする客が多い。夕方になると購買意欲のある客もいるが、売上は伸びない。チョコレート等のイベントを行っているが、客は目当ての物を買うだけで帰るので、靴の売上はとても厳しい。
百貨店（経理担当）	・企業業績の悪化が雇用・所得環境の悪化をもたらすことによって、法人客とともに個人客の減少が生じ始めるのではないかと考える。
百貨店（計画担当）	・景気を含めて先行きの見通しが不透明になってきており、買上げへの意欲が減少してきていると感じる。
スーパー（店長）	・消費税増税もあり、今後はもっと買物にシビアになると思う。逆に晴れの日等ここぞという時には更にしっかりと金を使うようになり、通常の買い回りに影響をすることは間違いないと感じる。
スーパー（支店長）	・季節も寒さが厳しくインフルエンザも流行するなか、来客数が減り単価も芳しくない。外交問題も懸念されるため先行き不透明感がある。企業の収益が賃金に還元されず、好景気が感じられない。
コンビニ（エリア担当）	・前年までは、仮に通常の値段の商品は動きが悪くてもセール商品は比較的よく売れたが、1月は、セールや施策を打っても客の反応が非常に悪かった。それに加えて、おにぎりや弁当など通常の商品も前年より売れないことが増えてきたので、先行きには不安を感じている。
コンビニ（店長）	・従来型の火をつけるたばこでは、低価格のたばこの売上が伸びている。節約志向が強い。
コンビニ（商品開発担当）	・セール品若しくは安価商品の販売が顕著であり、財布のひもが固く、無駄に物を購入しない流れは続くと見込まれる。
衣料品専門店（経営者）	・客の体調で来店回数が左右されている。毎年花粉が飛び交う春は外出を控える人が多い。
衣料品専門店（販売企画担当）	・例年1月はそれほど良くはないが、それにしても悪かった。2月が良くなるとは、客と話していても同業他社と話していても思えない。
乗用車販売店（従業員）	・国内の自動車販売量は、今は消費税増税前の特需があるが、2～3か月たつと一旦落ち着いて景気が少し悪くなる。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前年比で2.2%マイナス、来客数は前年比1.1%のマイナスとなっている。
一般レストラン（経営者）	・ニュースでは消費税増税が確実な方向で現実となりつつある。一般給与所得者にとっては不安が残り、飲食業界にとっては、これからの景気動向についてのマイナス要因として受け止めている。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費税増税を控え、買いためするのではなく、むしろ無駄を省こうと思っているとの声が多い。
タクシー運転手	・外交面での国の対応や消費税の引上げで、政府への不信を口にする客が多い。
通信会社（企画担当）	・春の選挙に向けて、政治家は動き出しているが、その場しのぎではなく、個人消費の停滞や少子高齢化など、様々な課題に真摯に向き合い、明るい未来を目指す姿勢が必要と思われる。
通信会社（営業担当）	・今後も、販売量の減少が続くと考えている。
テーマパーク（職員）	・インバウンドが減ってきている。
ゴルフ場（支配人）	・2か月先以降の入場者予約数はそこそ前年並みに入っており、通常どおりに推移すると思われる。しかし、今月が好調なので、今よりは少し悪くなると見込まれる。
パチンコ店（経営者）	・客先の業界全体に監督官庁の規制強化による客離れが浸透している。
理美容室（経営者）	・客とは、給料が増えることはなく物価だけ上がって、段々景気が悪くなっていくのではないかと話している。
美容室（経営者）	・当市ではどんどん人口が減っていることが大きい。
設計事務所（職員）	・今後、米国を含む景気の状態が良くなさそうなので、世界的に景気が悪くなる。
その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・2か月先まで仕事は入っているが、人件費、材料費が上がっており、利益率の悪い仕事が増えている。まだ厳しい状況が続いている。

	×	観光型ホテル（支配人）	・来月は前年同月に一見の大型宴会が数件あり、今年もそれに替わり前年以上に受注できているが、2か月先は祝賀会を含めた大型一般宴会が全くないこともあって、現時点で前年同時期比25%の減収となっているため悪くなる。
	×	理容室（経営者）	・景気の良い話はない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・建物の請負契約は4月までに契約しないと消費税が10%の扱いになるので、4月までは良いがその後が不安である。
企業 動向 関連  (東海)		-	-
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先で年度末に向けての設備投資やゴールデンウィーク前の展開が良くなるという期待から、やや良くなる。
		通信業（総務担当）	・国内の人手不足は、見方を変えれば景気が良いことを意味しているため、この先は良くなると思われる。
		金融業（従業員）	・様々な分野において、東京オリンピックに向けて徐々に上向ってきている印象で、全体的に活力等もあり、若干景気の方も回復し始めているように感じる。
		行政書士	・年度替わりの時期に入り、建設関係の荷動きが忙しそうである。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・消費税増税により、少し景気が上向きになる。ただし、米国と中国の動向次第では、大きく変化する可能性がある。新製品の完成を早くする必要があるのでと考えている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・3月の決算期を迎え、受注量、販売量共に期待もてるが、安定した動きで推移する。
		化学工業（人事担当）	・米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中東情勢等外部要因の今後の動向次第で良くも悪くもなるため、判断が難しい。
		化学工業（総務秘書）	・今後、景気に大きな影響を及ぼすものには米中貿易摩擦と消費税の引上げがあるが、我が国のやんわりとした好景気には、余り影響がないかもしれない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規成約案件が多くなっているため、しばらくは足元の繁忙状況が続くものと思われる。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、引き続き変わらないものと考えている。
		金属製品製造業（従業員）	・やや小規模で後継者のいない同業者の廃業もあり、仕事が集中する傾向にはある。余り売価アップの気配がないのが懸念である。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・中国市場の減速が北米の自動車産業の設備投資にもブレーキを掛けており、他に明るい材料も見当たらない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量が堅調に推移している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・影響がありそうな要素が見当たらない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・米中関係や英国のEU離脱の影響など海外において懸念はあるが、国内については当面は堅調に推移しそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年始等で今後の見通しについて取引先の話を見ると、年度末に向けて受注は横ばいが続きそうという話が多く、先にも上昇の気配がみえない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらくこのような状況が変わらない。
		輸送用機械器具製造業（製造担当）	・前年の動きと変わらないように思える。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・生産計画から横ばいと感じる。
		建設業（役員）	・足元が良い動きなので現状以上は期待できない。消費税の増税に関しても、理由とするような動きは聞かず、増税後の減税対策もあり、駆け込み需要には期待できない。
		輸送業（エリア担当）	・高単価が続いており、荷物量を減らそうとしてもなかなか減らない。
		輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油が前年より10円50銭上がっている。荷動きはまずまずであるが、このままで変わらない。
		輸送業（エリア担当）	・海外の政治的、経済的案件があるので、先が読めない。特に為替や株価によって国際航空貨物は影響を受ける。
		輸送業（エリア担当）	・これから年度末に向かって仕事が増えてくる季節になるが、繁忙期の3月を前に平年より上乘せとなる仕事量の増加は今のところないため、景気は横ばいである。
		通信業（法人営業担当）	・売りたいが売れないという現実が長く続くと、売手側に売れないことが当たり前という甘えが出る。この甘えを払拭するのは時間が掛かり、簡単には業績が上向かない。

	通信業（法人営業担当）	・現状の要因に加えて、消費者マインドが冷めている。近所の飲食店では年末年始の売上が前年比10%弱落ちている。米中貿易摩擦の我が国への悪影響、消費税引上げへの心理的圧力がある一方、企業の人手不足感や大学卒業者の内定率の上昇等良い面もみられるが、景気回復につながる画期的な判断材料は見当たらない。当面は、東京オリンピックに向けて何とかなるであろうという感覚なのか。
	金融業（企画担当）	・景気回復に一服感があり、個人投資家の様子見は続く。個人投資家以外は給与が上がっている実感がなく消費に向かわない。当面現状の景気が続くと思われる。
	不動産業（経営者）	・今後も例年同様に晴天の日が多くなるという予報もあり、当面の景気は今月同様に良い状態が継続し、売上は前年同期比100%以上で推移するとみている。
	不動産業（経営者）	・今後も急激な変化はみられない。
	広告代理店（制作担当）	・客の企業側からは春に向けて広告予算を増やす、という声は余り聞かれないため、現状維持の状態が続くと思われる。
	公認会計士	・中堅中小企業の業績回復には時間が掛かる。地域金融機関の指導機能が不足しており、会計事務所を含めて業績回復のアドバイスができる会社等が少ない。
	会計事務所（職員）	・為替に左右され、世界情勢にも簡単に左右される昨今では守りの体制が主流となり、動きのある会社はみられなくなっている。
	会計事務所（職員）	・消費税増税を前に大きな設備投資を計画している会社もあるが少数派である。余り大きな設備投資は控えているところが多い。
	食料品製造業（経営企画担当）	・原材料価格の高騰などで明るい要素が見当たらない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・景気が良くなるような材料、話が特にない。景気は現状維持か下がる。
	化学工業（営業担当）	・現状の要因に加えて、ダンボールメーカー等が値上げを打ち出している。主に運賃面の値上げが見込まれる。
	鉄鋼業（経営者）	・年度末に向けて利益確保のため消極的な話が多い。客の受注の先行きも、上向いている話がない。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・米国と中国の貿易摩擦がしばらく続くので、貿易量が縮小し経済が低迷する。
	建設業（経営者）	・ここ何年かの国家公務員の様子からは、国が良くなるように感じられない。景気が良くなる要因が全く考えられない。
	輸送業（経営者）	・物流業界を離れる人が増えるなかで、応募者はない。残業時間削減の努力を続けるなかで、同業の外注業者も能力不足のため新規の仕事を受けるのは難しい。
	輸送業（役員）	・業界としては石油価格の安定化は歓迎されるが、一方で中国経済の減速により、自動車関連を始め中小企業も含めた製造業に与える影響が懸念され荷動きが鈍ることが見込まれる。また、荷主からの適正運賃の収受にも影響しないか、懸念している。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・2月は営業支援的活動が中心となり、売上貢献はできない可能性がある。
	× 新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告の減少が回復するような兆しがない。
雇用 関連 (東海)	-	-
	人材派遣業（営業担当）	・外国人雇用の強化に向けた法改正もあり、人材確保が若干進展しそうな気配がある。
	人材派遣会社（社員）	・求人数の動きが活発になる。
	人材派遣会社（営業担当）	・年度末から年度初めにかけて求職者の動きは例年盛んになる。そのため、派遣人材については入れ替わりのピークを迎えると考えられる。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内外で新型車種の販売実績が好調なメーカーは年度末に向けて忙しく、雇用者数増の動きもあるが、採用決定に至るには厳しい状況が続く。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・4月1日入社を目指して活動する人が一番活況を帯びる時期となる。
	人材派遣会社（経営企画）	・個別企業には需要の浮き沈みはあるが、おしなべて現状維持である。

	人材派遣会社（営業担当）	・株価下落や米中貿易摩擦等による景気悪化の懸念は残るものの、足元では周辺企業の予算立てに影響が出ているという話は聞こえていないため、2～3か月先の景気も変わらないと見込んでいる。
	人材派遣会社（企画統括）	・年度替わりで求人ニーズが高まるものの、求職者とのミスマッチが当面続くものと思われる。
	求人情報製作会社（営業）	・海外情勢の不安による国内景気への影響が不透明である。海外要因による国内市場の停滞を懸念する。
	職業安定所（所長）	・大きな求人数の変化がない。
	職業安定所（職員）	・新規求職者の減少が続いており、有効求人倍率は高水準を維持している。
	職業安定所（次長）	・人手不足の解消に向けて、企業の働き方改革の取組が必要であるが、中小零細企業については、当面の労働力の確保もままならず、仕事はあるものの要員不足が阻害しているとの声が多く聞かれる。
	職業安定所（次長）	・新規求人数は横ばい状態であり、大きな変化はない。ただし、米中貿易摩擦の影響が企業の生産意欲の低下につながる可能性が考えられるので、今後注視が必要である。
	民間職業紹介機関（支社長）	・面接の通過率も余り変わらないため、求人企業の採用意欲は高いままである。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・求職者数は増加している一方で、働き方としてフルタイムを希望しない主婦層も多く、企業のニーズに合わず就業に結び付かないケースもある。企業への逆提案型での成約も増加してきている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・3月開催の学内採用説明会においては、収容力の都合による制限で出展希望を断った法人からは、採用資料のみでも案内してほしいという依頼が多く、採用意欲がつかえる。
	人材派遣会社（社員）	・今月が好調だったのでやや悪くなりそうである。
	人材派遣会社（営業担当）	・派遣先では欠員補充以外に派遣社員の採用を認めないケースが散見される。また、社員の希望退職を募るケースが徐々に増加している。
	人材派遣会社（営業担当）	・求人数に加え、中国の経済成長率も思わしくないため、我が国の経済にも徐々に影響を及ぼすと思われる。
×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・今まで新聞の求人広告を取り扱っていた広告代理店でも紹介事業を始めている。ますます新聞の求人広告は落ち込む。